



この美しい森の 未来を想い、時を紡ぐ。

“**昆** 虫が集まるホテル”を通して植生が豊かな森を作る。「グランドセイコー」の生産拠点である岩手・雫石で、セイコーが今、子どもたちに生物多様性の大切さを伝える活動に力を入れている。その名も「セイコーわくわく環境教室」。2021年11月、その活動の一環として子どもたちとともに“虫のためのホテル”制作に取り組んだ。

小さな巣箱をいくつも重ねたこの装置は、「インセクトホテル」と呼ばれている。欧州発祥の取り組みで、現地では公園や民家の庭先などで見かける

ことも多い。虫のすみかを用意することで、その虫に釣られて動物が集まるようになり、周囲の植生も豊かになるという。

ホテルの基礎部分は、2020年に開業した機械式時計の専門工房「グランドセイコースタジオ 雫石」を手掛けた隈研吾建築都市設計事務所の設計によるもの。森の景観に馴染ませるとともに、繰り返し使えるよう枠組みにはスチールを用いている。

セイコーは以前から雫石の森林保全活動にも力を入れていた。豊かな森を残していくだけでなく、

未来を生きる子どもたちが生物多様性の素晴らしさに触れる機会をつくること。さらに、楽しみながら学んでもらうことも企業の社会貢献と考えている。

先人から受け継いだものを、手をかけながらさらに未来につなげていく。この姿勢はそのままセイコーの時計づくりとも重なる。確かな品質を届け続けるために、技も心も、環境も次世代に受け渡したい。社会のために、未来のために、セイコーは今日も歩み続ける。



セイコー
わくわく環境教室



生き物との共生



インセクトホテル



親から子へ、楽しみながらつなぐ想い



グランドセイコースタジオ 雫石